地域に根差す事業者の「いま」を伝える情報紙

ふくしま県北事業所通信

第16号
2022/11

ファミリーファッション「たじまや」通信

人と街を結ぶ　地元商店街の魅力づくり

伊達市保原町の商店街で総合衣料品店を経営しています、阿部真吾と申します。

私の店では婦人服をはじめ、礼服・ドレス・学生服・肌着・生活雑貨などを扱っており、また年に数回、二階の催事会場でオーダースーツや婦人アウター、バッグなどの展示会を開催しています。一九二二年に私の曽祖父が「但馬屋呉服店」として創業。お客様に育てて頂きながら時代の変遷とともに業態も変化し、現在の総合衣料品店となり今年で百年目を迎えます。

最近では「買い物に行きたいけど手段がない」「足腰が弱って遠くに行けない」などの悩みを抱えるお客様が増え、当店でも可能な限り出張販売を行っています。商店街にはそうしたお年寄りへの気配りができる方が多いと思います。だからこそ、日々の買い物が交流に発展し、その日の表情から新たなコミュニケーションが生まれます。

商店街は、私たちの豊かな暮らしを支えるプラットホームと言えます。

しかし近年は、世の中の経済発展とともに大型店や海外企業が進出。その影響もあって、特に地方の商店街はシャッターを下ろしたままのシャッター通り商店街が増えてしまいました。伊達市内にも数年後には大型商業施設ができることで不安視される声もありますが、まだまだやれることはあるはずです。価格競争や過剰な利便性の追求で勝負せず、大型店にはない商店街ならではの魅力で賑わいを創り出す。そうした個性ある商店が密集する商業集積は、本来一番の魅力ではないでしょうか。

地域の見守りや新規出店のサポートも、商店街の大きな役割です。私たちは数年後にどのような商店街を目指すのか、地域全体でその道筋を共有しながら、今後も率先して地域コミュニティの担い手となり「人が集まりたくなる商店街」を目指していきます。

（株式会社 たじまや
代表取締役 阿部 真吾）

おの設計の住まいとまちづくりコラム

リビングには、落ち着ける犬専用スペースを

今回は、おの設計のペット事業部「いぬとねこの家づくり工房」から犬との暮らしに関する情報をお届けします。

犬と一緒に暮らしている方は、普段犬のいる場所はどこにしていますか？　わが家もそうですが、リビングや茶の間でなるべく多くの時間を一緒に過ごしているという方も多いのではないかと思います。

家の中でもリビングは、人にとっても犬にとっても居心地の良い空間です。ただ最近の住宅は客間がない場合が多く、来客があった場合はリビングで対応することに。そうなると、見知らぬ人に警戒して吠えたり暴れたりする犬も中には出てきます。犬もお客様も、互いに悪い印象を抱いてしまいますよね。

そんなときの対策としてお勧めするのは、リビングの一角に犬専用の落ち着けるスペースを用意しておくこと。犬は本能的に、洞穴のように囲まれた狭い場所が落ち着き安心できる場所と言われており、広いスペースはいりません。さらに、人の視線と犬の視線が交わらないような場所に配置することもポイントに。収納の下の部分を犬用の居場所にしたり、土間のように床から一段低い場所を設けるのも一つの手です。

来客時以外にも、何かあったときに安心して逃げ込める場所があるというのは、犬にとっても良いことです。ゆっくり落ち着ける犬用空間の確保をぜひ。

（おの建築設計事務所 代表
一級建築士 小野 紀章）

ペットのための家づくり
新築・リフォーム対応可
↓ご相談はお気軽に！↓

いぬとねこの
家づくり工房
おの建築設計事務所　ペット事業部
桑折町字諏訪40-22
☎ 024-573-6062
✉ inuneko@koori-onosekkei.com

齋藤事務所のIT通信

Twitterの認証バッチが有料化へ

桑折町を拠点に、福島県内の企業にITコンサルティングをしている齋藤慎也です。最近、Twitterの話題が多くなっています。まだ日本で実装されるかどうか分からない部分もありますが、書いていきたいと思います。

まずこの話題の発端は、電気自動車企業テスラの創業者であるイーロン・マスク氏がTwitterを買収し、経営者となったことです。以前も買収の話があり、一度保留のような形になっていましたが、最近一気に進みました。買収後、すぐにいろいろ仕掛け始めたことが大きな話題となっています。

その仕掛けの一つに、「認証バッチ」の有料化があります。認証バッチとはTwitterのそれぞれのアカウントの名前の横にある青いマークのことで、今までは無料で申請できたものです。Twitterが審査し、許可されれば設置されます。メディア、プロスポーツチーム、政治家など、日本のアカウントも多く認証バッチが設置されています。日本での実装時期はまだ確定していませんが、この認証バッチが月額八ドルほどで提供するという話が進んでいます。

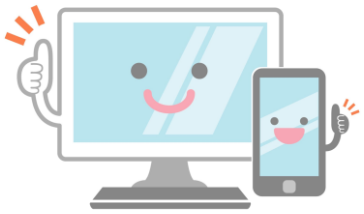
また「申請して許可制」から、「お金を毎月払うことでバッチを付けることができる」という方向に変わります。これはなりすましを減らすという意味合いなのは分かりますが、またタイムラインなどの広告収入などにより、Twitterの収益をさらに押し上げる「柱」を作るのだろうと予想できます。

この認証バッチを付けることにより、企業や個人のなりすまし防止になるとともに、Twitterの発信場所を重要と考えているという意思表示にもなると私は考えています。Twitterは情報収集ツールとして優秀であること、拡散力があること、仕事として活かされていることから、私は認証バッチを有料で設置する予定です。

実装された後、企業やお店などが有料で設置するかどうか、検討していった方が良いでしょう。有料にすると、投稿したものが多くの人に表示されやすくなる？のようなことも考えてしまいますね。今後の展開に注目しています。

（ITコンサルタント
齋藤事務所 代表　齋藤 慎也）

インターネット活用しましょう！



〈ホームページ作成・運用〉
まだ作っていない
作っているけど生かせていない

〈Twitter等のSNSをビジネスに〉
どのSNSを運用？
使い方がまだよく分からない
投稿を知ってもらうには？

お気軽に下記QRコードから
お問い合わせください

齋藤事務所
代表　ITコンサルタント
齋藤 慎也（桑折町）
https://saitoshinya.com

お陰様で創業100年

⇐Facebook
たじまやSNS
LINE⇒

大駐車場完備 営業時間／午前9時30分～午後6時30分
ふれあい散歩道
たじまや
ファミリーファッション 保原町中央商店街 ☎575-3186(代)

地元の旬の素材を使った料理と自慢のどぶろくが楽しめるお店

あつかしの どぶろく 彩季亭

〔住所〕
伊達郡国見町大字
山崎字北町田31-11
（JR藤田駅 徒歩2分）
〔TEL〕
024-573-6574
〔駐車場〕7台可

発行元：ふくしま情報発信局 伊達支局（おの建築設計事務所 内）
住所：福島県伊達郡桑折町字諏訪40－22　TEL：024－582－3004
メール：main@fukushima-info.net

バックナンバーはこちら⇒